

探究論文評価基準

(2026 年度版)

観点 A 研究の目的と意義

ストランド	評価	ストランドごとの評価基準
① ② 研究の目的 研究の意義	0	以下の基準に達していない。
	1,2	① 研究の目的が設定されている。 ② 先行研究や社会の状況について言及した上で研究の意義を述べている。
	3,4	① 研究によって明らかにすること、あるいは提案・行動することが明示された形で目的が設定されている。 ② 目的に関わる先行研究や社会の状況を踏まえた上で研究の意義を述べている。
	5,6	① 研究によって明らかにすること、あるいは提案・行動することが明示された形で目的が設定され、その目的は十分に焦点化され、試行錯誤を通じて達成できる見通しがある。 ② 目的に関わる先行研究や社会の状況のレビューを十分に行った上で、自らの研究を適切に位置付け、研究の意義を明確に述べている。

観点 B 研究の方法・計画と資料の収集

ストランド	評価	ストランドごとの評価基準
① ② 研究方法・計画 資料の収集・整理	0	以下の基準に達していない。
	1,2	① 目的を達成するための方法が述べられている。 ② 資料やデータが収集され、何らかの形で示している。
	3,4	① 目的を達成するための方法が明確に述べられている。 ② ある程度の量の資料やデータが収集され、ある程度整理して示している。
	5,6	① 目的を達成するための有効な方法が明確に述べられており、その方法をとる根拠を論理的に説明しようとしている。 ② 十分な量の資料やデータが適切な手順・方法で収集され、整理して示している。

観点 C 結果と考察

ストランド	評価	ストランドごとの評価基準
① ② 結果 考察	0	以下の基準に達していない。
	1,2	① 資料やデータを分析した結果、あるいはそれを踏まえた提案・行動について述べられている。 ② 結果や提案・行動に関わる考察をおこなっている。
	3,4	① 資料やデータを分析した結果、あるいはそれを踏まえた提案・行動についてわかりやすくまとめられている。 ② 目的を踏まえ結果や提案・行動の特徴を捉え、考察をおこなっている。
	5,6	① 資料やデータを相応しい形で示した上で、適切に分析した結果あるいは提案・行動についてわかりやすくまとめられている。 ② 目的に応じて結果や提案・行動の特徴を適切に捉え、それに基づいて考察をおこなっている。

観点 D 結論と課題・展望

ストランド	評価	ストランドごとの評価基準
① ② 結論 課題・展望	0	以下の基準に達していない。
	1,2	① 研究の目的に対する結論が述べられている。 ② 今後の課題あるいは展望を述べている。
	3,4	① 結果あるいは提案・行動に言及した上で、研究の目的に対する結論が述べられている。 ② 研究の成果に関連して、今後の課題と展望を述べている。
	5,6	① 結果と考察を根拠として、目的に照らして研究の成果を整理してまとめている。 ② 研究の成果と限界に基づき、今後の課題と展望を焦点化して述べている。